

平成22年 4月 30日

三重県議会議長 三谷 哲央 様

氏 名 萩原 量吉



平成21年度政務調査費に係る収支報告について

三重県政務調査費の交付に関する条例第10条第1項（第3項）の規定により、
別紙のとおり平成21年度政務調査費収支報告書を提出します。

平成21年度 政務調査費収支報告書

氏名 萩原量吉

1 報告対象期間 2009年4月1日～2010年3月31日

2 収入

政務調査費 2,160,000 円

3 支出

(単位:円)

項 目	支 出 額	内 訳	備 考
調査研究費	671,760	旅 費	71,760
		需 用 費	0
		委 託 料	600,000
		負 担 金	0
		そ の 他	0
研 修 費	4,000	旅 費	0
		報 償 費	0
		需 用 費	0
		使 用 料	0
		負 担 金	4,000
		そ の 他	0
会 議 費	0	旅 費	0
		需 用 費	0
		使 用 料	0
		そ の 他	0
資料作成費	2,205	需 用 費	2,205
		手 数 料	0
		そ の 他	0
資料購入費	3,627	図 書 購 入 費	3,627
		その他資料購入費	0
広 報 費	1,457,757	旅 費	0
		需 用 費	1,455,027
		通 信 運 搬 費	0
		そ の 他	2,730
事 務 所 費		賃 借 料	
		管 理 運 営 費	
		そ の 他	
事 務 費	17,815	需 用 費	17,815
		通 信 運 搬 費	0
		そ の 他	0
人 件 費	0	人 件 費	0
合 計	2,157,164		2,157,164

4 残余

2,836 円

24500002

(2009)

平成21年度調査研究活動の実施概要報告書

会派(議員)名 萩原量吉

調査研究活動の主な内容、成果等

① 調査研究活動

各種講演会、学習会などに積極的に参加、県当局、出先機関、専門家、学者研究者などから聞き取り、調査資料収集など積極的に行ってきた。

とりわけ、現場の実態を現地に赴き調査、申し入れなどを積極的に取り組んできた。労働者の派遣切り問題ではシャープ、ホンダをはじめとする大企業への申し入れとともに労働者との懇談、生活相談など取り組み、その要求にもとづいて、管内、行政への働きかけ、国会議堂との連携に力を注いできた。

各地の議会報告会やつどいで意見、要望の聞き取りなど、地域での国、県、市政への要求にまとめ、議会内外で積極的に、その実現のため全力投球してきた。

② 各種団体との懇談、意見、要望を聞きとり、共同に県市へ申し入れ、調査、研究など実施し、いくつかの成果をあげることができた。

③ 調査、研究の経過や結果、その成果を報告し、さらに新たな情報提供などを求めることができた。

これまで三重県政と県議会に関する、私のまとめた論文をまとめ、冊子として、各界、各層のみなさんに配布し、ハカキやメール、手紙などで多くの意見、感想、新たな情報や意見が寄せられた。RDF、カス化誘融施設、シャープへの補助金、石原産業とフェロシット事件など、一定の歴史と問題点をまとめた論文等にあらためて、いくつかの新しい情報、意見も寄せられ、自から大いに学ばされた。

メール、アンケート、ホームページへの意見、要望も多く、次の管内や新たな調査活動に役立っている。

項目	調査研究費	旅費
----	-------	----

年	月	日	支出金額	内容
2009	4	2	2320	国民投票法に基づく投票人名簿のシステム構築予算調べ
	4	6	2310	高校授業料減免等の実態について
	4	8	2310	シャープ等県補助金の実績について
	4	16	2320	県土整備部・直轄事業負担金等について
	4	20	2320	生活保障室・生活保護の実態、推移について
	4	27	2320	県議会事務局・議会基本条例について
	6	3	2310	補正予算、内容調査聞き取り
	6	5	2320	人権同和事業、人権同和教育の実態について
	6	8	2320	福祉医療制度、救急医療についての聞き取り
	6	10	2320	労働行政の指標、最低賃金制度について
	6	19	2320	政策総務、防災農水商工など委員会傍聴
	6	23	2320	健康福祉病院など委員会傍聴
	7	2	2310	監査委員会事務局、健康福祉部聞き取り
	7	9	2310	セーフティーネット資金の貸付について
	7	28	2310	県政報告書、港の整備に関する調査
	8	6	2320	介護支援、県の監査・指導に関する聞き取り
	8	13	2310	知事への申し入れなど
	8	17	2320	自殺者数とその変化について
	9	3	2320	地方税管理回収機構に関する調査など
	9	4	2310	RDF焼却発電所の市町負担について
	9	7	2320	国民健康保険、平和遺族会の要求など
	9	14	2310	フェロシルト問題、職員のメンタルヘルスの実態について
	9	17	2320	平和遺族会、県と交渉、要望
	9	26	2290	伊勢湾台風50周年、防災シンポジウム
	11	2	2310	母親大会連絡会の県への予算要求、聞き取り
	11	5	2320	年金問題等、他委員会傍聴
	11	18	2320	県地方議員研修会での聞き取り、県政報告
	11	19	2310	新規高卒者、就職状況等
	11	25	2310	三重県環境活動賞など
	12	21	2310	環境森林部・委員会質疑資料等聞き取り
	12	22	2320	議会諮問委員の聞き取り、予算要求調査
計			71760	

24500004

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩原量吉		
用 務	国民投票法に基づく投票人名簿のシステム構築 予算調ベ		
調 査 日 程 及 び 調 査 先	2009 年 4 月 2 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府 (県) (郡) 津 (市)・町・村 (調査先名称) 県議会 議事堂		
支 出 内 訳	1 旅費 <u>2,320</u> 円 (運賃等1 津市～四日市 (980円×2) 1,960 円) (運賃等2 円) (運賃等3 円) (運賃等4 円) (運賃等5 円) (自家用車使用 30 円/km × 12 km = 360 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1 円) (加減額2 円) (加減額3 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)		

24500005

旅費等支出計算書

旅 職	行 氏	者 名	萩原量吉		
用	高技授業料減免等の実態について				
調 査 日 程 及 び 調 査 先	2009年4月6日～ 三重 都・道・府 県 (郡) 津 市・町・村 (調査先名称) 県議会 教育委員会				
支 出 内 訳	1 旅費 <u>2,310</u> 円 (運賃等1 円) (運賃等2 円) (運賃等3 円) (運賃等4 円) (運賃等5 円) (自家用車使用 30 円/km × 77 km = 2,310 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1 円) (加減額2 円) (加減額3 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)				

24500006

旅費等支出計算書

旅 職	行 氏	者 名	萩原量吉	
用	務	シャープ等、県補助金の実績等		
調 査 日 程 及 び 調 査 先	2009年4月8日～ 三重 都・道・府・県 (郡) 津 市・町・村 (調査先名称) 県議会議事堂			
支 出 内 訳	1 旅費 <u>2,310</u> 円 (運賃等1 円) (運賃等2 円) (運賃等3 円) (運賃等4 円) (運賃等5 円) (自家用車使用 30 円/km × 77 km = 2,310 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1 円) (加減額2 円) (加減額3 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)			

24500007

旅費等支出計算書

旅 職	行 氏	者 名	萩原 量 吉		(印)
用	務	県土整備部、直轄事業員担金等について。			
調 査 日 程 及 調 査 先	2009 年 4 月 16 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府・(県) (郡) 津 (市)・町・村 (調査先名称) 県議会 議事堂				
支 出 内 訳	1 旅費 2,320 円 (運賃等1 津～四日市 (980円×2) 1,960 円) (運賃等2 円) (運賃等3 円) (運賃等4 円) (運賃等5 円) (自家用車使用 30 円/km × 12 km = 360 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1 円) (加減額2 円) (加減額3 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)				

24506008

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩原量吉		
用 務	生活保障室, 生活保護の実態, 推移について		
調 査 日 程 及 び 調 査 先	2009 年 4 月 20 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府 県 (郡) 津 市・町・村 (調査先名称) 県議会 議事堂		
支 出 内 訳	1 旅費 2,320 円 (運賃等1 四日市~津, 1,960 円) (運賃等2 円) (運賃等3 円) (運賃等4 円) (運賃等5 円) (自家用車使用 30 円/km × 12 km = 360 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1 円) (加減額2 円) (加減額3 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)		

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩原 量 吉	
用 務	県議会事務局、議会基本条例等について。	
調 査 日 程 及 び 調 査 先	2009 年 4 月 27 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府・(県) (郡) 津 市 町・村 (調査先名称) 県議会 議事堂	
支 出 内 訳	1 旅費 2,320 円 (運賃等1 四日市~津 1,960 円) (運賃等2 円) (運賃等3 円) (運賃等4 円) (運賃等5 円) (自家用車使用 30 円/km × 12 km = 360 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1 円) (加減額2 円) (加減額3 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)	

24500010

旅費等支出計算書

旅 職	行 氏	者 名	萩原量吉			
用	務 補正予算、内容調査、自注					
調 査 日 程 及 調 査 先	2009 年 6 月 3 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府・ <u>県</u> (郡) 津 市・町・村 (調査先名称) 県議会議事堂、予算調整室、県土整備部					
支 出 内 訳	1 旅費 2,310 円 (運賃等1 円) (運賃等2 円) (運賃等3 円) (運賃等4 円) (運賃等5 円) (自家用車使用 $30 \text{ 円/km} \times 77 \text{ km} = 2,310 \text{ 円}$) (宿泊費 円/泊 $\times$ 泊 = 円) (調査雑費 円/日 $\times$ 日 = 円) (加減額1 円) (加減額2 円) (加減額3 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等 円) (手土産代 円/箇所 $\times$ 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)					

24500011

旅費等支出計算書

旅 職 員 氏 名	萩原 量 吉			
用 務	人権同和施策、人権同和教育の実態について			
調 査 日 程 及 び 調 査 先	2009 年 6 月 5 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府・県 (郡) 市・町・村 (調査先名称) 県議会、人権同和室、人権同和教育室			
支 出 内 訳	1 旅費 <u>2,320</u> 円 (運賃等1 四日市~津 1,960 円) (運賃等2 円) (運賃等3 円) (運賃等4 円) (運賃等5 円) (自家用車使用 30 円/km × 12 km = 360 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1 円) (加減額2 円) (加減額3 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)			

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩 原 量 吉		
用 務	福祉医療制度、救急医療に関する調査		
調 査 日 程 及 び 調 査 先	2009 年 6 月 8 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府 (県) (郡) 津 (市) 町・村 (調査先名称) 県議会、健康福祉部		
支 出 内 訳	1 旅費 2,320 円 (運賃等1 四日市~津 1,960 円) (運賃等2 円) (運賃等3 円) (運賃等4 円) (運賃等5 円) (自家用車使用 30 円/km × 12 km = 360 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1 円) (加減額2 円) (加減額3 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)		

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩原 量 吉		
用 務	労働行政の指標、最低賃金制について		
調 査 日 程 及 び 調 査 先	2009 年 6 月 10 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府 (県) (郡) 津 市・町・村 (調査先名称) 県・労働局		
支 出 内 訳	1 旅費 <u>2,320</u> 円 (運賃等1 四日市 ~ 津 1,960 円) (運賃等2 円) (運賃等3 円) (運賃等4 円) (運賃等5 円) (自家用車使用 30 円/km × 12km = 360 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1 円) (加減額2 円) (加減額3 円) 2 付随する経費 <u>円</u> (参加費、資料代等 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)		

旅費等支出計算書

旅 職	行 氏	者 名	萩原 量吉		
用	業務 県議会傍聴、政策、農村環境視察委員会、他				
調 査 日 程 及 び 調 査 先	2009年6月19日～ 年 月 日 三重 都・道・府・県 (郡) 津 市 町・村 (調査先名称) 県議会 議事室				
支 出 内 訳	1 旅費 2,320 円 (運賃等1 四日市～津 1,960 円 (運賃等2 円 (運賃等3 円 (運賃等4 円 (運賃等5 円 (自家用車使用 30 円/km × 12 km = 360 円 (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円 (調査雑費 円/日 × 日 = 円 (加減額1 円 (加減額2 円 (加減額3 円 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等 円 (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円 (その他1 (内容) 円 (その他2 (内容) 円 (その他3 (内容) 円				

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩 原 量 吉	
用 務	委員会傍聴と調査、健康福祉部等	
調 査 日 程 及 調 査 先	2009 年 6 月 23 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府(県) (郡) 津 市・町・村 (調査先名称) 県議会 議事堂	
支 出 内 訳	1 旅費 <u>2,370</u> 円 (運賃等1 四日市~津 1,960 円) (運賃等2 円) (運賃等3 円) (運賃等4 円) (運賃等5 円) (自家用車使用 30 円/km × 12 km = 360 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1 円) (加減額2 円) (加減額3 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)	

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩原 量 吉	
用 務	監査委員事務局に属せし、健康福祉部内係	
調 査 日 程 及 調 査 先	2009 年 7 月 2 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府 (県) (郡) 津 (市) 町・村 (調査先名称) 県議会 議事堂	
支 出 内 訳	1 旅費 <u>2,310</u> 円 (運賃等1) 円) (運賃等2) 円) (運賃等3) 円) (運賃等4) 円) (運賃等5) 円) (自家用車使用) 30 円/km × 77 km = 2,310 円) (宿泊費) 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費) 円/日 × 日 = 円) (加減額1) 円) (加減額2) 円) (加減額3) 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等) 円) (手土産代) 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容)) 円) (その他2 (内容)) 円) (その他3 (内容)) 円)	

24500017

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩 原 量 吉		
用 務	セーフティネット資金の貸付について 県金融室		
調 査 日 程 及 び 調 査 先	2009年 7 月 9 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府 (県) (郡) 津 (市) 町・村 (調査先名称) 県議会 議事堂 県金融経営室		
支 出 内 訳	1 旅費 <u>2,310</u> 円 (運賃等1 円) (運賃等2 円) (運賃等3 円) (運賃等4 円) (運賃等5 円) (自家用車使用 30 円/km × 77 km = 2,310 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1 円) (加減額2 円) (加減額3 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)		

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩 原 量 吉
用 務	県政報告書、港の整備に関する調査について
調 査 日 程 及 調 査 先	2009 年 7 月 28 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府 (県) (郡) 神 (市) 町・村 (調査先名称) 県・交通・資源政策監等企画室
支 出 内 訳	1 旅費 <u>2,310</u> 円 (運賃等1 円) (運賃等2 円) (運賃等3 円) (運賃等4 円) (運賃等5 円) (自家用車使用 30 円/km × 77 km = 2,310 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1 円) (加減額2 円) (加減額3 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)

旅費等支出計算書

旅 職	行 氏	者 名	萩原量吉	
用	務	介護支援について、県の監査、指導に随伴する。		
調 査 日 程 及 び 調 査 先	2009 年 8 月 6 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府・県 (郡) 津 市・町・村 (調査先名称) 県、健康福祉部、長寿社会室等			
支 出 内 訳	1 旅費 <u>2,320</u> 円 (運賃等1 四日市~津 1,960 円) (運賃等2 円) (運賃等3 円) (運賃等4 円) (運賃等5 円) (自家用車使用 30 円/km × 12 km = 360 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1 円) (加減額2 円) (加減額3 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)			

24500020

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩 原 量 吉	
用 務	知事へのマニフェストの申し入れ等	
調 査 日 程 及 調 査 先	2009 年 8 月 13 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府・県 (郡) 津 市・町・村 (調査先名称) 県、知事室、議会図書室	
支 出 内 訳	1 旅費 <u>2,310</u> 円 (運賃等1) 円) (運賃等2) 円) (運賃等3) 円) (運賃等4) 円) (運賃等5) 円) (自家用車使用) 30 円/km × 77 km = 2,310 円) (宿泊費) 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費) 円/日 × 日 = 円) (加減額1) 円) (加減額2) 円) (加減額3) 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等) 円) (手土産代) 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容)) 円) (その他2 (内容)) 円) (その他3 (内容)) 円)	

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩原 量吉		
用 務	自殺者数とその変化について、他		
調 査 日 程 及 調 査 先	2009 年 8 月 17 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府 (県) (郡) 津 (市)・町・村 (調査先名称) 県議会・議事堂、県健康福祉部、県警		
支 出 内 訳	1 旅費 <u>2,320</u> 円 (運賃等1 四日市~津 1,960 円) (運賃等2) 円) (運賃等3) 円) (運賃等4) 円) (運賃等5) 円) (自家用車使用 30 円/km × 12 km = 360 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1) 円) (加減額2) 円) (加減額3) 円) 2 付随する経費 <u>円</u> (参加費、資料代等) 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容)) 円) (その他2 (内容)) 円) (その他3 (内容)) 円)		

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩 原 量 吉	
用 務	地方税管理回収機構に関する調査等	
調 査 日 程 及 び 調 査 先	2009 年 9 月 3 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府 (県) (郡) 津 市・町・村 (調査先名称) 県庁、税務政策室、議事堂	
支 出 内 訳	1 旅費 2,320 円 (運賃等1 四日市~津 1,960 円) (運賃等2 円) (運賃等3 円) (運賃等4 円) (運賃等5 円) (自家用車使用 30 円/km × 12 km = 360 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1 円) (加減額2 円) (加減額3 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)	

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩原 量 吉	
用 務	RDF焼却発電所の新田豊担1-742 付近	
調 査 日 程 及 調 査 先	2009 年 9 月 4 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府(県) (郡) 津 (市) 町・村 (調査先名称) 県・議事堂, 企業庁	
支 出 内 訳	1 旅費 <u>2,310</u> 円 (運賃等1 円) (運賃等2 円) (運賃等3 円) (運賃等4 円) (運賃等5 円) (自家用車使用 30 円/km × 77 km = 2310 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1 円) (加減額2 円) (加減額3 円) 2 付随する経費 (参加費、資料代等 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)	

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩原 量 吉	
用 務	国民健康保険、平和造程会の要求等	
調 査 日 程 及 調 査 先	2009 年 9 月 7 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府 (県) (郡) 津 市・町・村 (調査先名称) 県庁、後援会、健康福祉部	
支 出 内 訳	1 旅費 <u>2,320</u> 円 (運賃等1 四日市~津 1,960 円) (運賃等2) 円) (運賃等3) 円) (運賃等4) 円) (運賃等5) 円) (自家用車使用 30 円/km × 12 km = 360 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1) 円) (加減額2) 円) (加減額3) 円) 2 付随する経費 (参加費、資料代等) 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)	

24500025

旅費等支出計算書

旅 行 者 氏 名	萩原 量 吉			
用 務	70311問題、取巻のメシタルハルの実態等調査			
調 査 日 程 及 び 調 査 先	2009 年 9 月 14 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府 (県) (郡) 23 (市)・町・村 (調査先名称) 県庁、議会秘書室、環境森林部			
支 出 内 訳	1 旅費 2,310 円 (運賃等1 円) (運賃等2 円) (運賃等3 円) (運賃等4 円) (運賃等5 円) (自家用車使用 30 円/km × 77 km = 2,310 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1 円) (加減額2 円) (加減額3 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)			

24500026

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩原 量 吉	
用 務	平和造粒会、県と交渉要望	
調 査 日 程 及 び 調 査 先	2009 年 9 月 17 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府 (県) (郡) 津 市・町・村 (調査先名称) 県議会振興室 援護グループ	
支 出 内 訳	1 旅費 <u>2,320</u> 円 (運賃等1 四日市~津 1,960 円) (運賃等2) 円) (運賃等3) 円) (運賃等4) 円) (運賃等5) 円) (自家用車使用 30 円/km × 12 km = 360 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1) 円) (加減額2) 円) (加減額3) 円) 2 付随する経費 <u>円</u> (参加費、資料代等) 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容)) 円) (その他2 (内容)) 円) (その他3 (内容)) 円)	

旅費等支出計算書

旅 職	行 氏	者 名	萩原 量 吉		
用	務	伊勢湾台風50周年、防災シンポジウム			
調 査 日 程 及 び 調 査 先	2009 年 9 月 26 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府 県 津 市 町 村 (調査先名称) 輪中ボーム cafe				
支 出 内 訳	1 旅費 2290 円 (運賃等1) 高速料金 四日市東~長島 1000 円) (運賃等2) 円) (運賃等3) 円) (運賃等4) 円) (運賃等5) 円) (自家用車使用 30 円/km × 43 km = 1290 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1) 円) (加減額2) 円) (加減額3) 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)				

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 四日市東

お問い合わせは、中日本お客さまセンター
フリーコール 0120-922-229
上記番号をご使用になれないお客さまは
TEL 052-223-0333 (有料)

09年 9月26日 11時41分

車種 普通

通行料金 ¥500-

(現金)

—入口料金所— 長島

高速道路ルート・料金検索やお得な旅行商品
情報発信中！詳細はHP「高速日和」にて！

中日本高速道路株式会社

愛知県名古屋市中区錦2-18-19

取扱番号206-00421132-00

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 長 島

お問い合わせは、中日本お客さまセンター
フリーコール 0120-922-229
上記番号をご使用になれないお客さまは
TEL 052-223-0333 (有料)

09年 9月26日 8時29分

車種 普通

通行料金 ¥500-

(現金)

—入口料金所— 四日市東

高速道路ルート・料金検索やお得な旅行商品
情報発信中！詳細はHP「高速日和」にて！

中日本高速道路株式会社

愛知県名古屋市中区錦2-18-19

取扱番号203-00680820-00

24500029

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩原量吉			
用 務	母親大会連絡会、県へ予算等要求、調査、			
調 査 日 程 及 び 調 査 先	2009 年 11 月 2 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府 ① (郡) 津 市 町・村 (調査先名称) 県庁、厚生棟会議室、健康福祉部等			
支 出 内 訳	1 旅費 2,310 円 (運賃等1 円) (運賃等2 円) (運賃等3 円) (運賃等4 円) (運賃等5 円) (自家用車使用 30 円/km × 77 km = 2,310 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1 円) (加減額2 円) (加減額3 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)			

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩原量吉																																				
用 務	代表者会議・協議会・年金問題等、他委員会傍聴																																				
調 査 日 程 及 び 調 査 先	2009 年 11 月 5 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府 県 (郡) 津 市・町・村 (調査先名称) 県議会会議事堂																																				
支 出 内 訳	<table> <tr> <td>1 旅費</td><td>2,320 円</td></tr> <tr> <td>(運賃等1 四日市~津)</td><td>1,960 円)</td></tr> <tr> <td>(運賃等2</td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(運賃等3</td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(運賃等4</td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(運賃等5</td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(自家用車使用 30 円/km × 12 km =</td><td>360 円)</td></tr> <tr> <td>(宿泊費 円/泊 × 泊 =</td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(調査雑費 円/日 × 日 =</td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(加減額1</td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(加減額2</td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(加減額3</td><td>円)</td></tr> <tr> <td>2 付随する経費</td><td>円</td></tr> <tr> <td>(参加費、資料代等</td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(手土産代 円/箇所 × 箇所 =</td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(その他1 (内容)</td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(その他2 (内容)</td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(その他3 (内容)</td><td>円)</td></tr> </table>	1 旅費	2,320 円	(運賃等1 四日市~津)	1,960 円)	(運賃等2	円)	(運賃等3	円)	(運賃等4	円)	(運賃等5	円)	(自家用車使用 30 円/km × 12 km =	360 円)	(宿泊費 円/泊 × 泊 =	円)	(調査雑費 円/日 × 日 =	円)	(加減額1	円)	(加減額2	円)	(加減額3	円)	2 付随する経費	円	(参加費、資料代等	円)	(手土産代 円/箇所 × 箇所 =	円)	(その他1 (内容)	円)	(その他2 (内容)	円)	(その他3 (内容)	円)
1 旅費	2,320 円																																				
(運賃等1 四日市~津)	1,960 円)																																				
(運賃等2	円)																																				
(運賃等3	円)																																				
(運賃等4	円)																																				
(運賃等5	円)																																				
(自家用車使用 30 円/km × 12 km =	360 円)																																				
(宿泊費 円/泊 × 泊 =	円)																																				
(調査雑費 円/日 × 日 =	円)																																				
(加減額1	円)																																				
(加減額2	円)																																				
(加減額3	円)																																				
2 付随する経費	円																																				
(参加費、資料代等	円)																																				
(手土産代 円/箇所 × 箇所 =	円)																																				
(その他1 (内容)	円)																																				
(その他2 (内容)	円)																																				
(その他3 (内容)	円)																																				

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩 原 量 吉																																																							
用 務	県地方振興・研修会・県政報告・調査																																																							
調 査 日 程 及 び 調 査 先	2009 年 11 月 18 日 ~ 年 月 日 都・道・府・県 (郡) 市・町・村 (調査先名称) 教育文化会館																																																							
支 出 内 訳	<table border="0"> <tr> <td>1 旅費</td><td></td><td><u>2,320</u> 円</td></tr> <tr> <td>(運賃等 1 四日市～津)</td><td></td><td>1,960 円)</td></tr> <tr> <td>(運賃等 2)</td><td></td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(運賃等 3)</td><td></td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(運賃等 4)</td><td></td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(運賃等 5)</td><td></td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(自家用車使用 30 円/km × 12 km = 360</td><td></td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(宿泊費 円/泊 × 泊 =</td><td></td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(調査雑費 円/日 × 日 =</td><td></td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(加減額 1)</td><td></td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(加減額 2)</td><td></td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(加減額 3)</td><td></td><td>円)</td></tr> <tr> <td>2 付随する経費</td><td></td><td><u> </u> 円</td></tr> <tr> <td>(参加費、資料代等)</td><td></td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(手土産代 円/箇所 × 箇所 =</td><td></td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(その他 1 (内容)</td><td></td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(その他 2 (内容)</td><td></td><td>円)</td></tr> <tr> <td>(その他 3 (内容)</td><td></td><td>円)</td></tr> </table>		1 旅費		<u>2,320</u> 円	(運賃等 1 四日市～津)		1,960 円)	(運賃等 2)		円)	(運賃等 3)		円)	(運賃等 4)		円)	(運賃等 5)		円)	(自家用車使用 30 円/km × 12 km = 360		円)	(宿泊費 円/泊 × 泊 =		円)	(調査雑費 円/日 × 日 =		円)	(加減額 1)		円)	(加減額 2)		円)	(加減額 3)		円)	2 付随する経費		<u> </u> 円	(参加費、資料代等)		円)	(手土産代 円/箇所 × 箇所 =		円)	(その他 1 (内容)		円)	(その他 2 (内容)		円)	(その他 3 (内容)		円)
1 旅費		<u>2,320</u> 円																																																						
(運賃等 1 四日市～津)		1,960 円)																																																						
(運賃等 2)		円)																																																						
(運賃等 3)		円)																																																						
(運賃等 4)		円)																																																						
(運賃等 5)		円)																																																						
(自家用車使用 30 円/km × 12 km = 360		円)																																																						
(宿泊費 円/泊 × 泊 =		円)																																																						
(調査雑費 円/日 × 日 =		円)																																																						
(加減額 1)		円)																																																						
(加減額 2)		円)																																																						
(加減額 3)		円)																																																						
2 付随する経費		<u> </u> 円																																																						
(参加費、資料代等)		円)																																																						
(手土産代 円/箇所 × 箇所 =		円)																																																						
(その他 1 (内容)		円)																																																						
(その他 2 (内容)		円)																																																						
(その他 3 (内容)		円)																																																						

24500032

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩原量吉			(印)
用 務	新規高卒者就職状況等			
調 査 日 程 及 び 調 査 先	2009 年 11 月 19 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府 (県) (郡) 津 (市)・町・村 (調査先名称) 教育委員会事務局			
支 出 内 訳	1 旅費 2,310 円 (運賃等1) 円) (運賃等2) 円) (運賃等3) 円) (運賃等4) 円) (運賃等5) 円) (自家用車使用 $30 \text{ 円/km} \times 77 \text{ km} = 2,310 \text{ 円}$) (宿泊費 $\text{円/泊} \times \text{泊} = \text{円}$) (調査雑費 $\text{円/日} \times \text{日} = \text{円}$) (加減額1) 円) (加減額2) 円) (加減額3) 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等) 円) (手土産代 $\text{円/箇所} \times \text{箇所} = \text{円}$) (その他1 (内容)) 円) (その他2 (内容)) 円) (その他3 (内容)) 円)			

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩原量吉		
用 務	三重環場活動費		
調 査 日 程 及 調 査 先	2009 年 11 月 25 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府・ <u>県</u> (郡) 津 , 市・町・村 (調査先名称) 県庁舎、議事堂		
支 出 内 訳	1 旅費 2,310 円 (運賃等1) 円 (運賃等2) 円 (運賃等3) 円 (運賃等4) 円 (運賃等5) 円 (自家用車使用 $30 \text{ 円/km} \times 77 \text{ km} = 2,310 \text{ 円}$) (宿泊費 $\text{円/泊} \times \text{泊} = \text{円}$) (調査雑費 $\text{円/日} \times \text{日} = \text{円}$) (加減額1) 円 (加減額2) 円 (加減額3) 円 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等) 円 (手土産代 $\text{円/箇所} \times \text{箇所} = \text{円}$) (その他1 (内容)) 円 (その他2 (内容)) 円 (その他3 (内容)) 円		

旅費等支出計算書

旅 行 者 職 氏 名	萩原 量吉			
用 務	環境森林部. 季会質疑資料集. 調査.			
調 査 日 程 及 び 調 査 先	2009 年 12 月 21 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府・県 (郡) : 津 市・町・村 (調査先名称) 県議会 議事室.			
支 出 内 訳	1 旅費 2,310 円 (運賃等1) 円 (運賃等2) 円 (運賃等3) 円 (運賃等4) 円 (運賃等5) 円 (自家用車使用 $30 \text{ 円/km} \times 77 \text{ km} = 2,310 \text{ 円}$) (宿泊費 $\text{円/泊} \times \text{泊} = \text{円}$) (調査雑費 $\text{円/日} \times \text{日} = \text{円}$) (加減額1) 円 (加減額2) 円 (加減額3) 円 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等) 円 (手土産代 $\text{円/箇所} \times \text{箇所} = \text{円}$) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)			

旅費等支出計算書

旅 職	行 氏	者 名	萩原 量 吉		
用	務 議会諮問委員の聞き取り、予算要求調査				
調 査 日 程 及 調 査 先	2009 年 12 月 22 日 ~ 年 月 日 三重 都・道・府・県 (郡) 津 市・町・村 (調査先名称) 県議会 議事堂				
支 出 内 訳	1 旅費 2,320 円 (運賃等1 四日市 ~ 津 1,960 円) (運賃等2 円) (運賃等3 円) (運賃等4 円) (運賃等5 円) (自家用車使用 30 円/km × 12 km = 360 円) (宿泊費 円/泊 × 泊 = 円) (調査雑費 円/日 × 日 = 円) (加減額1 円) (加減額2 円) (加減額3 円) 2 付随する経費 円 (参加費、資料代等 円) (手土産代 円/箇所 × 箇所 = 円) (その他1 (内容) 円) (その他2 (内容) 円) (その他3 (内容) 円)				

項目	調査研究費	委託料
----	-------	-----

年	月	日	支出金額	内容
2009	4	30	50000	政務調査受託費 4 月分
	5	29	50000	政務調査受託費 5 月分
	6	30	50000	政務調査受託費 6 月分
	7	31	50000	政務調査受託費 7 月分
	8	31	50000	政務調査受託費 8 月分
	9	30	50000	政務調査受託費 9 月分
	10	30	50000	政務調査受託費 10 月分
	11	24	50000	政務調査受託費 11 月分
	12	28	50000	政務調査受託費 12 月分
2010	1	29	50000	政務調査受託費 1 月分
	2	28	50000	政務調査受託費 2 月分
	3	31	50000	政務調査受託費 3 月分
計			600000	

24500037

領 収 証

萩原 量吉

様

No. _____

★

¥ 50000-

但

政務調査受託費

2009年 4月 30日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

収 入
印 紙

コクヨ ワケ-1097

24500038

領 収 証

萩原豊吉

様

No. _____

★

¥ 50,000 -

但

政務調査受託費

2001年 5 月 29 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

収 入
印 紙

コクヨ ケー-1097

24500039

領 収 証

萩原 量吉

様

No. _____

★

¥ 50000

但

政務調査受託費

2009年 6月 30日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

24500040

領 収 証

萩原量吉

様

No. _____

★

¥ 50000

但

政務調査受託費

2009年 7月 31 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1087

2450004 i

領 収 証

萩原 量吉

様

No. _____

★

¥ 50000

但

政務調査費託費

2009年 8月 31日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

24500042

領 収 証

萩原量吉

様

No. _____

★

¥ 50000 -

但

政務調査受託費

2009年 9 月 30 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

24500043

領 収 証

萩原 量吉

様

No. _____

★

¥ 50000

但

政務調査受託費

2009年 10月 30日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

収 入
印 紙

コクヨ クケ-1097



24500044

領 収 証

萩原量吉

様

No. _____

★

¥ 50000

但

政務調査受託費

2009 年 11 月 24 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

24500045

領 収 証

萩原 量吉

様

No. _____

★

¥ 50000

但

政務調査受託費

2009 年 12 月 28 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

24500046

領 収 証

萩原 量吉

様

No. _____

★

¥ 50000

但

政務調査受託費

2010 年 1 月 29 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

24500047

領 収 証

萩原 量吉

様

No. _____

★

¥ 50000

但

政務調査受託費

2010年 2 月 28 日 上記正に領収いたしました

内 訳

収 入
印 紙

税抜金額

消費税額等 (%)



コクヨ ウケ-1097

24500048

領 収 証

萩原 量吉

様

No. _____

★

¥ 50000

但

政務調査受託費

2010年 3月 31日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

収 入
印 紙

コクヨ ウケ-1097

24500049



日本共産党 三重県議会議員

はぎわら量吉

はぎわら量吉 事務所

四日市市新正4丁目21-11

電話 059-351-8184

☐ ご意見ご要望メール

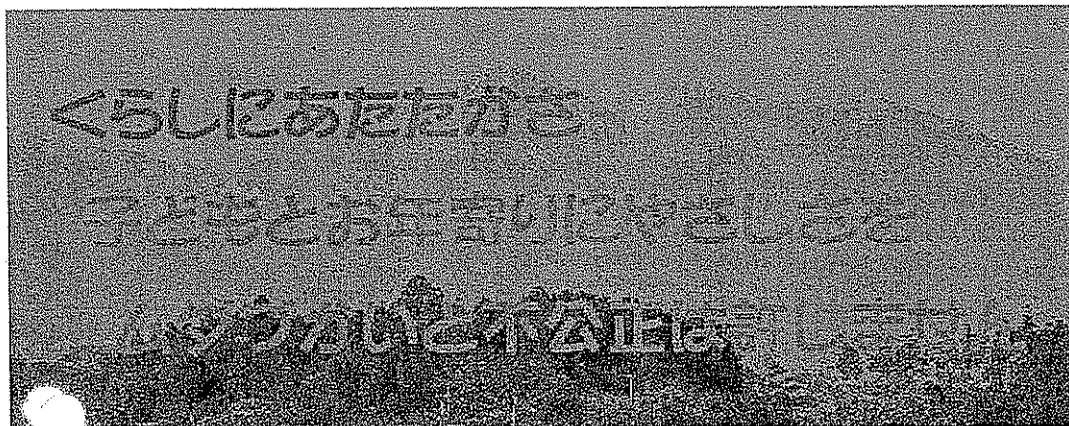
[ホーム](#)

[県政と議会](#)

[活動日誌](#)

[お知らせ](#)

[プロフィール](#)



活動日誌

- ▶▶ 2010.03.11
商工会連合会のみなさんと、集団申告
消費税増税ゆるすな！ とデモ行進
- ▶▶ 2010.03.06～07
つどい、街頭宣伝、訪問と赤旗拡大・・・
寒い冷たい雨の中、がんばりました。
- ▶▶ 2010.03.01
四日市西校卒業式でごあいさつ
三菱化学へ、測定値の改ざん、たす

お知らせ

- ▶▶ 2010年県当初予算の特徴と問題点
- ▶▶ 共産党県議団の2009年10大ニュース
- ▶▶ 日本共産党中央委員会発行「議会と自治体」4月号の案内
- ▶▶

県政の動きと議会報告

- ▶▶ 2010.03.12
シャープの補助金返還、6億4千万円余
共産党と県民の要求、一部実る。
- ▶▶ 2010.03.08
県立医療センターは病診連携を守る
議案質疑で知事に約束、とりつける。
- ▶▶ 2010.02.26
県立病院の「民営化」
県の責任で病診連携を貫け！

日本共産党中央委員会

日本共産党三重県委員会

しん 赤旗 お読みください

日本共産党 三重県議会議員 真弓としお
津市選出

日本共産党 四日市市議会議員 かとう 清助

日本共産党三重県議団

はぎわら量吉
県会活動ニュース

県議在職25年
パンフレットの案内
「ひとすじに、ひたすらに」

- ▶▶ はぎわら量吉の著作
- ▶▶ 過去の記事
- ▶▶ 2010年度県予算要望(案)
- ▶▶
- ▶▶

日本共産党三重県議会議員 はぎわら量吉

〒510-0064 四日市市新正4丁目21-11 電話 059-351-8184 FAX 059-353-4395

copyright c 2007 , Ryokichi Hagiwara, all rights reserved

24500050

項目	研修費	負担金
----	-----	-----

年	月	日	支出金額	内容
2009	12	12	4000	第24回地方税全国研究交流集会参加費
計			4000	

2450005i

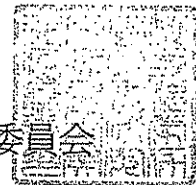
領収書

萩原 量吉 様

¥ 4 0 0 0

但し、第 24 回地方税全国研究交流集会参加費として

2009 年 12 月 12 日 地方税全国研究交流集会実行委員会



24500052

項目	資料作成費	需用費
----	-------	-----

年	月	日	支出金額	内容
2009	4	17	2205	ホワイトボード (質問用)
計			2205	

24500053

シートワ白揚

四日市文具館



〒1&7771DUO四日市安島店
059-353-7370

お買上げ明細

シートNo:165182 伝 01:2081165182
09年04月17日(金) 17:31 店:2080
担当: 端:2081

HAKUYO-BOARD	9918000005
ボード	
定価:	0
735 x 3 内	¥2,205

小 計	3点 ¥2,205
(内税)	(¥105)
合計	¥2,205
	お預り ¥2,505
おつり	¥300

ホワイトボード(壁間用)

24500054

項目	資料購入費	図書購入費
----	-------	-------

年	月	日	支出金額	内容
2009	4	24	777	「反貧困」(岩波新書)
	10	30	2850	国会便覧(平成21年8月版)
計			3627	

24500055



本なら何でも揃う

宮脇書店

宮脇書店 四日市本店

電話 0593-59-5910

〒510-0075 三重県四日市市安島1-3-31 ララス
クエア4F

2009/04/21

No.02-L00

ララスクエア
四日市

扱:0005

006:4-01

新書1

@777-

1点

¥777

合計商品点数

1点

合計

¥777

(消費税額)

¥37

お預り

¥1,000

お釣り

¥223

「反貧困」(岩波新書)
湯浅 誠 著

24500056

領 収 之 証

第0798号		年 月 会 計
官 報 年 期 分		円
政 府 刊 行 物 代 金		円
内 訳 国会便覧 H21年8月新版 125版		
¥ 2,850.-		消費税込み
2009 年 10 月 30 日		
上記金額領収しました		
日本共産党 三重県議団 御中		津市中央 三重県庁 別 冊

24500057

項目	広報費	需用費
----	-----	-----

年	月	日	支出金額	内容
2009	5	27	12600	萩原量吉ホームページサーバー費用
	7	13	31899	県会活動ニュース第21号印刷代(6千枚)
	7	14	60890	大量の『非正規切り』から雇用・暮らしを守る(印刷・製本)
	11	24	186559	萩原県議会報告新聞折込料(中日)
	11	24	24875	萩原県議会報告新聞折込料(新広社)
	11	24	44556	萩原県議会報告新聞折込料(朝日)
	11	24	14248	萩原県議会報告新聞折込料(読売)
	12	15	480900	萩原県議会報告印刷代
2010	1	27	598500	25周年記念誌「ひとすじにひたすらに」印刷代
計			1455027	

24500058

032728

[illegible]

上記の金額正に領収致しました

內	現金		P
	小切手		
	廻小切手		
	約手		
	廻手形		
	相殺		
訳	振込	12,600	

收入
印紙

名古屋市瑞穂区塩田町17番6号

(株)東海共済印刷

TEL(052) 7281 (代表)

担当者印

領収証

日本共産党
1531-1531 様

21年7月13日

731,189円

但し 県会 活動ニス入印紙代 080617発行 6000枚
上記の金額正に領収いたし親類

中層、B、4 名上

多津美印刷株式会社

〒510-0061 三重県四日市市
TEL:059353-8321 FAX:059351-8207

第3次緊急雇用・経済対策に238億円計上 工口自動車、地デジテレビ、パソコンなどの買換



はぎわら市議会活動ニュース

第21号
09/06/21発行
はぎわら市議会
事務局
四日市市新正
4丁目21-11



72%も公共事業に投資、 県民生活を守る施策は？

6月4日から本会議が再開され、6月30日まで
の6月議会が召集されました。

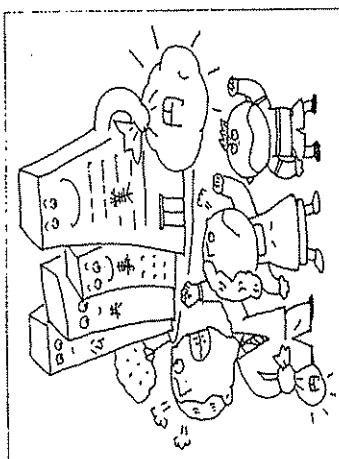
国の補正予算の通過を受けて、一般会計で31
6億円、特別会計・企業会計を含めて320
億円の「第三次緊急経済対策」という補正予算
が提案されました。

これまで三重県は、2月補正で第一次緊急雇用・
経済対策で68億5、100万円、5月の補正で
18億8、100万円、その上、今回は第三次の
緊急経済対策として、238億5、500万円もの
大型の補正予算が提案されました。

これまでの緊急雇用対策などで十分な成果は上
がらず、派遣切りの労働者が仕事や家をさがして、
四日市や鈴鹿などハローワークは大混雑をしてい
ます。

これら第一次、第二次の緊急雇用・経済対策を
十分に検証することなく、今度は238億円とい
う大型の補正です。しかし、中身を調べてみる
と、政府・自民・公明政権の選挙目当てのバラま
き予算になっています。

新たな借金90億円増やす



その問題点をあ
げてみる。

① 大型公共事
業予算が大半をし
める補正予算になっ
ていることです。

一般公共事業で
57億円、国庫
事業で65億円、
県単公共事業で
49億円と、あわ
せて172億5、

572万円、緊急雇用・経済対策全体の72、
3%がこの公共事業です。

そのためにまた新たに借金（県債）を90億円
も増やします。この結果、三重県は1兆一千億円
もの借金残高になります。

おとろき、私達の税金で

公用車259台をハイブリッド車に
1000台以上を地デジテレビと
五年以上のパソコン全て買い換え、

② 県有車をなんとも259台も買い換えるとい
うのです。

ハイブリッド車やエコカーなど環境対応車に買
い換える予算は、総額4億円にものほりま。

③ 地上デジタル放送の対応（2年分）のため
に、県のアナログテレビをほとんど地上デジタル
テレビに買い換えるのです。

なんと、1、096台で1億810万円です。
さらに、チューナー購入やアンテナ改修などの、
400万円、県民はなかなか地上デジタルにな
りえないのに、県だけは早々と、私達の税金で
買い換えするのです。

④ パソコンも5年以上のものはすべて買い換
えます。これまたなんと1億3、200万円です。・・・
等々。

このように、全くのバラま
き予算で大盤ふるまいます。
わずかながら、保育園整備や
放課後児童クラブ、高校奨学
金の増額など、一定の評価で
きる予算もありますが、全体
としては本当にすべての県民
の家計を応援する予算にはなっ
ていません。

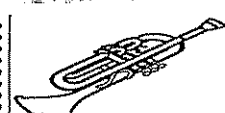
はぎわら議員は「このような
国、県の経済対策も、結局のと
ころ、自動車やデジタルテレビ、
パソコンなどを大量生産する大
企業・大資本の応援に終始して
いる」と厳しく指摘しています。

そして「こんなバラまき予算
のツケを、選挙が終わったら
『消費税を12%』にすると準備
が進められています。今度の選
挙でこんな政治にNOの審判を下
しましょう。」と力強く決意を
語っています。



お知らせ はぎわら市ホームページ
のアドレス。ご意見、ご感想をお寄せ下
さい。
アドレス: <http://hagiwara.jcp-mie.jp>

【おねがい】暮らしの相談事や雇用不安の相談事等、遠慮なくお
寄せ下さい。TEL(351)81-8466。



領 収 証

日本共産党
はぎわら電器事務所様

21年7月13日

60,890円

但し大量の非正規切込が雇用。— BS PA, 2000円
上記の金額正に領収いたしました。印刷。監印。



多津美印刷株式会社

〒510-0061 三重県四日市市
TEL 0593-53-8321 FAX 0593-51-8207



出版社の広告部分を除外。

面積比で按分して、60890円を算入。

かるべく、多面的・総合的な支援が切実に求められています。

総合的な相談窓口の措置を求めて

まだまだ不十分ですが、この問題にとりくんで、なんといっても総合的な相談窓口、ワンストップですべての問題に対応できるセンターの設置が大切だと痛感しています。

一月末に開かれた全労連東海・北陸ブロックの〇九年春闘学習・非正規交流会で、首都圏ユニオン書記長の河添誠氏から、東京での「年越し派遣村」の経験と教訓を大いに学びました。そのなかで、雇用や違法な派遣切りへの対応は、ハローワークや労働基準監督署という国の機関のみの対応で、生活支援などの面での県や市町行政との連携が不十分であることをあらためて認識しました。

私たちは、国・県・市町のあらゆる相談を、一カ所でできる窓口をつくるよう要求してきましたが、〇九年度予算で、四日市駅前の農協ビル五階に設置されていたマザースパロン

(子育て中の母親の仕事を支援する機関)に、国と県の職員が常駐して「求職者総合支援センター」を設置することになりました。ここでは、納税相談や就労援助、生活保護などの市町の情報も提供されることになりました。

また、県の社会福祉協議会に、「三重県福祉就労・生活相談センター」を設置し、福祉関係の職場への就労や雇用についての情報提供やあつ旋、さらに緊急小口貸付(二つなぎ資金(十万円))の窓口も開設させることができました。

まだまだワンストップサービスとはいきませんが、大いに相談や要求を持ち込んで充実させなければなりません。さらに、派遣切り、雇い止めの違法性などの労働相談・法律相談にものれるように、県内五カ所で弁護士や社会保険労務士も参加して、定期的に労働法律相談会を開くことも予算化しています。

企業社会を受け取らない党の独壇場

県下の党地方議員会議も開いて、これらの

情報交換や、企業への申し入れや宣伝活動、各市町の対応の違いなども交流し、学びあひながらとりくみをすすめています。

なんといっても、これらの問題では、大企業から献金を受け取っていない日本共産党の独壇場です。大企業の社会的責任をあきらかにさせるとともに、「政治災害」として政治の責任を明確にさせることがいよいよ重要になつてきていると痛感します。

開会された予算議会ですが、その論戦の先頭に立つてがんばるときだと思っています。提案された三重県の予算は、法人二税の大幅な減収(法人事業税、法人県民税で〇八年度当初予算九百五十億円にたいし〇九年度は五百三十億円(四百二十億円減))が見込まれています。その一方で、相変わらずの大企業への補助金十一億四千万円を計上するなどのムダづかいもあります。

これらの実態を大いに県民の前にあきらかにしながら、議会内外のたたかいと連携して、いま日本共産党に寄せられている大きな期待にこたえて全力投球する決意に燃えています。

(はぎわら・りょうきち)

特集 雇用・地域経済と自治体

大量の「非正規切り」から雇用・暮らしをまもる (三重県)

企業誘致、非正規雇用だのみの「活気」が崩壊

企業誘致で、県外・海外からも派遣・請負労働者を集める

三重県は二〇〇二年、当時の北川正恭知事が、自治体としては前例のない破格の九十億円もの補助金を出して、シャープ亀山工場を誘致しました。それ以降、県北勢地域を中心に、次つぎと企業誘致を重ねてきました。そしてこれらの企業では、製造業での労働者派遣自由化のもとで、従来から立地していた自動車産業のホンダ鈴鹿製作所などとともに、

県外はいうに及ばず海外からも大量の期間工・派遣・請負労働者を集めてきました。

電気・機械、半導体、自動車産業などで、各社の社内異動も多く、地元での正社員の新規採用は低く抑えられていましたが、非正規の期間工や派遣などの募集で、求人が急増し、三重県の有効求人倍率はこの五年間(〇三年〜〇七年)一・〇を下回ることはなく(パートをふくむ)、全国的に見ても二・三位と、見かけ上は大変「活気ある」状況がつくられてきました。

県外ナンバーの車(とりわけ東北や沖縄・九州各県の軽自動車)が中心が走り回り、また派遣労働者や外国人を運ぶバスが集中し、企業周辺の道路は大渋滞するという状況とな

っていました。〇五年に就任した野呂昭彦知事も、「三重は元氣」と、「県税収入の増加」を自慢してきましたが、一方で巨額の大企業向け補助金や、誘致にともなう道路、工業用水の整備などの負担も大きいものでした。

労働者・中小企業、地域は疲弊

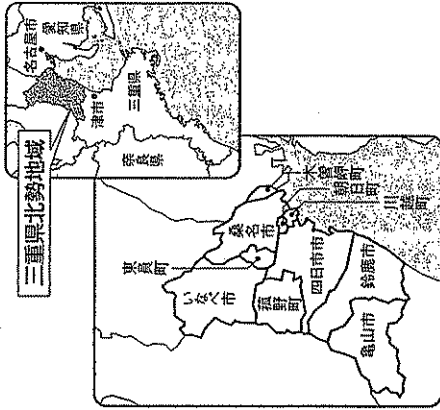
さらに、「元氣」なのは大企業の資本だけで、労働者は低賃金を、中小企業は安い下請け単価を押しつけられていました。県民のなかでは格差が大きくなり、地域経済・社会の疲弊がすすみ、すでに派遣・請負労働者や期間工の切り捨ても企業の一方的な都合で強行されていました。

企業誘致がすすんだ直後の〇二年十月二十



党三重県議 秋原量吉

24500063



八日号の「日経ビジネス」は、「私達はこうして道を切り開いた」と題した記事を載せ、シャープを誘致した北川知事(当時)と県職員の熱意を天まで持ち上げていました。しかし、その同じ「日経ビジネス」誌が、〇六年七月十日号では、「格差の世紀 三重県亀山最高益に潜む使い捨ての現実」という記事を載せました。この変化は、この間の三重県(とくに北勢地域)の「元氣」が、非正規労働者の使い捨て雇用のもとでつくられてきたという実態をあらわす象徴的なものでした。

金融危機下で「非正規切り」

そうしたもとで、〇八年秋以降、アメリカ

発の金融危機・急速な景気悪化のなか、日本の製造業大企業を中心に「非正規切り」がすすめられ、多くの非正規労働者が働く三重県でも深刻な社会問題になってきました。

厚生労働省調査でも六千人近い非正規労働者が解雇・雇止めとなる(〇八年十月から〇九年三月までに)ことがあきらかになっています(二月報告数値。全国では十五万七千八百六十六人)。県内の「非正規切り」の主な事例としては、ホンダで期間工七千六百六十六人、シャープで派遣社員三百八十人の解雇・雇止めなどがあきらかになっています。

(ま) シャープ亀山工場の誘致の問題点とその後の状態は、「前掲」〇六年十月号「誰のための企業誘致か?」の拙文と、「議会と自治体」〇七年一月号、服部孝規・党亀山市議員「シャープ亀山工場の雇用実態と課題」を参照して下さい。

雇用・暮らし守れ」と、県、業界団体へ申し入れ

こうしたなか党三重県委員会は、党の緊急経済提言「大企業・大銀行応援が、国民のくらし応援か」(〇八年十一月十一日)も活用して、景気悪化から労働者・住民の雇用とく

らしをまもる責任を果たすよう、各種業界団体や県、市などに、申し入れや懇談を重ねてきました。

県議会で唯一、雇用問題で質問

県議会では、十一月二十八日、私が「シャープや東芝など、補助金を出している大企業に社会的責任を果たさせよ」と題して一般質問に立ちました。

この一般質問では、東芝四日市工場で約二百人の契約更新が見送られ中途解約になったことや、シャープ亀山工場でも「十二月から減産ですでにラインが一部止められて労働者が四十、五十人いなくなった」という労働者の証言も紹介して、雇用の確保を強く要求しました。

私は、「大企業の身勝手なリストラをやめさせよ。少なくとも県が補助金を出している企業の調査、聞き取りをおこない、雇用確保を申し入れよ」と、強く迫りました。また、真弓俊郎県議も関連質問で、大企業への立ち入り調査を要求しました。この県議会で派遣切りや雇用問題での質問に立ったのは、日本共産党三重県議団(二人、定数五十二)だけでした。

るのは外国人です。三重県は企業誘致が急速にすすめられたこともあり、現在、外国人登録者数は五万人を超え、この五年間で一万五千人も増えています。人口に占める外国人比率(二・七%)は、東京、愛知に次いで全国第三位で、国籍は九十八カ国にも及びます。

ところが、今回の派遣切り、雇止めのおかげで、真つ先に切り捨てられた外国人労働者がどうなっているのか、その実態さえ十分に把握されていませんでした。

四日市市の公団住宅・健川団地(千七百戸)は、その半分以上にブラジル人を中心とする外国人が入居していましたが、本国へ帰る人が増え、空き家になったり、家賃が払えず一戸に二、四世帯が同居していたりしているところもあります。

ブラジル人学校の生徒も、二百六十四人か

ら百四十五人へと大きく減少しており、子どもたちの未就学の心配もひろがっています。公立小中学校にも多くの外国人の子どもが学んでいますが、ここでは、ポルトガル語やスペイン語の話せる先生や通訳が不足しているという問題もあります。

仕事、住まい、生活、教育など総合的支援をまた、職を失った外国人労働者に対応するために、ハローワークなどの窓口では通訳を増やすことが急がれますが、実態は、とても実情にあっていません。

二月になって、四日市市はようやく外国人の実態調査に乗り出しましたが、その内容は「アンケート用紙を送って返信してもらう」というものにすぎず、その調査結果を今後どう活用するのかも不明です。先にのべたよう

に、県は生活保護適用を促す通達を出していますが、外国人労働者にとっては言葉の壁もあり、簡単ではありません。これをどう徹底するかなど、生活支援にむけた課題が山積しています。

外国人労働者の問題でも、派遣会社(派遣元)まかせで、実際に外国人労働者を働かせてきた大企業(派遣先)はまったくの知らん顔です。本来なら、社内教育として言語や日本の文化、くらしの習慣などを企業(派遣元・派遣先)の責任としておこなうべきです。しかし、現場では、ブラジル人などの名前が覚えられないこともあって、「おい、〇〇番」と番号がつけられて呼ばれているなど、人権無視もはなはだしいのが実態です。

いま政治の責任として、仕事、住まい、生活保障、子どもの教育など多文化の共生をは

生かそう!
雇用・労働政策
と立法提案

これが人間らしく働き方のルール

市田忠義(監修)・日本共産党労働法制改悪阻止闘争本部(編)

労働者保護法の抜本的な拡充をめざす日本共産党の立法提案とその活用法をわかりやすく解説する本。働くルール確立にむけた考え方の基本と、多くの人が一致でき、いさぐ解決されるべき課題は何かを明確にします。最新の雇用・労働政策と労働法制関連年表も収録。たたかひの指針となる一冊です。

〈A5判〉定価1575円(税別)

新日本出版社
電話 03(3423)8402 営業
FAX 03(3423)8419

21.00mm
24500064
25709mm

480mm

知事部副委員長からも労働組合をつくつてもにたかおと訴えがあり、懇談会の終了後も「労働組合づくり相談会」が開かれました。

参加したホントの期間工の男性は、「職場には非正規労働者を守る組合がない。JMIひなどがあることを知って勉強になった」と発言して、他の二人とともにJMIひ労働分會を結成し、組合として団体交渉を申し入れました。これもマスコミ各社が大きく報道しました。

労働局やハローワークにも

企業への立ち入り調査や申し入れ、さらにはシンポジウムのなかで、期間工や派遣労働者たちが「企業の就業規則などまったく見ない」など、労働基準法の周知義務などにまったく違反している事実も数多くあきらかになりました。

私たちは、労働局や労働基準監督署にこの事実を知らせ、企業への指導や監督を強化するよう要請しました。さらに、新しい仕事や住宅の入居の問題などで、派遣切りにあつた労働者とともにハローワークにも出かけ、いっしょに解決できるよう努力をしてきました。

県幹部による企業士社への訪問

三重県当局は、当時あまり深刻に受け止めていませんでした。しかし、県内の雇用状況の急速な悪化を受けて、十二月に入りようやく県内に副知事をトップに各部長から構成する「緊急雇用経済対策会議」を設置しました。そして、県内の従業員五十人以上の企業約千社すべてに、県の課長級以上の幹部職員約三百三十人が手分けして訪問することとなりました。

この訪問活動は、知事の要請文「雇用の維持及び採用内定の履行に関するお願い」および「事業所への雇用対策依頼時の意向把握メモ」をもって、雇用状況や将来の見通し、課題、要請などの聞き取り、県として雇用確保などの要請をおこなうというものでした。訪問・要請は、年末から年始にかけておこなわれ、一月中旬の中間まとめでは、五十人以上の企業・事業所千六社中八百九十四社（八・九％）へ訪問しています。

調査のなかで、雇用問題では「一部の大手製造業では、非正規社員の大規模な雇止めを行っている」一方で、「中小企業には、経営は苦しいが雇用は維持したいと考える企業も多い」という状況があきらかになったことが報告されています。さらに、今後の雇用の見

民主団体と協力し、「雇用対策会議」を設立

日本共産党三重県委員会は、労働組合や生活と健康を守る会、民商、新婦人、医療生協のみなさんと協力して「雇用対策会議」をつくり、共同して大企業の派遣切りに対処しようという会議を重ねてきました。そして、情報の交換や、県・市交渉、申し入れなどを連携しておこなってきました。

生活を保障するためには、なによりもまず生活保護の申請を受け付けてもらわねばなりません。ところが、生活保護の窓口である市・町の保護課や社会福祉事務所では、住民票がその市・町にないことを理由として申請を受け付けず、交通費を渡して隣の町にいかせるなど、無責任な態度をとってきました。

なかには、市民の税金が使われる（保護費の四分の一）だけに、「市民でない人に保護を適用し、市営住宅への入居をさせるのは問題だ」とあからさまにいう市・町担当者もいました。「中日新聞」（二月二十三日付）には、名古屋市中村区役所の課長が「一日に五六人は三重県からも来ていますね」とのべ

通しについては、「縮減予定」と「先行き不明」とした答への合計が訪問企業全体の五〇・九％であり、とくに製造業では五七・七％にも達していることが判明しました。

知事へ予算要望、各団体へ要請・懇談

さらに、年末十二月二十二日には、大森隆司党県委員長、中野たけし党県書記長（比例候補）とともに県議団はあらためて野呂知事と面談し、緊急雇用対策とともに来年度（〇九年度）の予算要求書を申し入れし、懇談をおこないました。知事は、県幹部がいつせいに調査と要求をおこなっていることや住むところを追われた非正規労働者のために、県営住宅をとりあえず三十戸用意していることなどをあきらかにしました。

また、県議団と党三重県委員会は、県信用保証協会や県商工会議所連合会、県商工会連合会、県中小企業団体中央会、県産業支援センターなどを相次いで訪問し、要請と懇談を重ねてきました。

多くのところでは、日本共産党の志位委員長らの経団連やトヨタ、キャノンなどへの申し入れが話題となり、「日本共産党は支持率が右肩上がりになっているじゃありませんか」「工士船」もアームですね」「とにかく小

たという記事が掲載される始末です。私たちは、県・市・町議を中心に、県や市町の窓口の応対に抗議し、相談者といっしょに是正を求め、生活保障のお手伝いもしてきました。

こうしたなかで、私は、年末の「年越し派遣村」（東京都千代田区・日比谷公園）の経験をふまえ、「東京都が派遣を出して生活保護の適用を促したように（その結果、日比谷公園を現住所として生活保護適用などが実現）、三重県も生活保護法の立場と精神をまねく県民に徹底させることが重要」という点を、県の緊急雇用対策会議の報告を受けた県議会全員協議会で強く要求しました。

このとき、県健康福祉部長は徹底することをお約束し、二月六日、各市町の「生活保護及びホームレス担当課長会議」が開かれ、「相談窓口においては、相談者の生活への不安な気持ちに十分な配慮を持って臨み、相談者の申請権を侵害していると疑われるような対応は厳に慎まれるよう」との通達が出されました。

外国人労働者の深刻な実態

「派遣切り」でもっとも早く切り捨てられ

泉改革の誤りがはつきりしてきました。みなさんががんばってもらわないと大変なことになってきますね」「この年末、政治が力を合わせてがんばってもらわなければならないと、与党も野党もどっちもどっちという感じでした。その点で共産党の小池晃さんが「今こそお互いに知恵を出し合って、国民のために力をあわせて歩み寄るべきだ」といったのは本当によかった」と大いに激励もされました。

切羽詰まった労働者の生活・住居の保障求めて

年末以降、党北勢地区委員会事務所や党議員のところへ持ち込まれる相談は、本当に切羽詰まった深刻なものばかりでした。

「四日市市役所の保護課にいったら五百円渡されて、名古屋にいくよういわれた」「解雇され、社宅も追い出された。なかに荷物が残っているのに、管理会社が変わってカギまで勝手に変えられて、連絡も取れず、荷物もなにも持ち出せない」「四日市市に住所を移していないので、市の保護課も住宅課も相手にしてもらえなかった。今夜いくところもな

ホンダ鈴鹿製作所では、二カ月ごとに契約の更新をくり返している事実も指摘し、労働契約法第十七条第2項(*)に違反している事実も追及しました。

シャープ亀山工場では、三重県が九十億円、亀山市が四十五億円も補助金を出しているだけに、「企業みずから雇用を守るべきだ」と強く要求しました。また、内部留保金や株式配当をばく大に保有・加配しているだけに、「内部留保や配当を削ってでも労働者の雇用と暮らしを守れ」と強く迫りました。あわせて、各企業の門前でビラを配り、「人間の『使い捨て』を許さないために、ともに



党主催の雇用シンポジウム＝桑名市、2月8日

たたかきましょう」と訴えました。

さらに、日立金属、NTN(東洋ベアリング)、トヨタ車体、東芝、富士通、八千代工業、日本ハム、住友電業などへも、県議・市議・党幹部を中心に、門前でのビラまきや工場への立ち入り調査、申し入れをおこなってきました。

ホンダ鈴鹿製作所の門前では、せこゆき子元衆議院議員も先頭立って宣伝をしました。が、何人もの労働者が「ありがとう」といながらどうも受け取っていきませんでした。

(*)労働契約法第十七条第2項

「使用者は、期間の定めのある労働契約について、その労働契約により労働者を使用する目的に照らして、必要以上に短い期間を定めることにより、その労働契約を反復して更新することのないよう配慮しなければならない。」

注目集めた雇用シンポ成功

桑名市で二月八日に八田ひろ子元参議院議員を迎えて開催した「働くルールを考える雇用問題シンポジウム」(日本共産党三重県委員会、北勢地区委員会共催)では、私もあいさつと訴えをおこないました。

このシンポジウムは、予想を大きく上回る

い、「住むところがない。借金もあるし、実家の九州に帰る金もない」などです。

多くの人が手持ちのお金も少なく、すぐに対応しなければならない状況でした。

県営住宅への入居募集を早めるよう、県に求めましたが、抽選は年を越した一月九日です。これではまったく間に合いません。年末年始をどう過ごすのが当面の大問題となり、県の救済施設を紹介したりしましたが、が空に相談者を事務所から追い出すわけにもいかない。と、緊急避難として党事務所の二階の日本間に一晩泊まってもらうことになりました。

県は、一月になって県営住宅の臨時募集の抽選をおこないましたが、一次募集は八戸にたいして六十一件の申し込み(七・六倍)、二次募集は二十二戸にたいして百四十五件の申し込み(六・七倍)という状況で、とても間に合いません。

廃止決定された雇用促進住宅への入居が可能に

各地のハローワークの窓口では雇用促進住宅のあつ旋をおこなっていましたが、北勢地域では廃止決定されている雇用促進住宅しかなく、当初はあつ旋の対象となる住宅があり

ませんでした。

党北勢地区委員会は、四日市市内にある三つの雇用促進住宅の住民のみならず、廃止決定を撤回させ住みつづけられるように運動をおこなってきました。その運動と相まって、佐々木憲昭衆議院議員の協力も得て国会要請や雇用能力開発機構の出先などに要求して

いました。国会での党の追及もあり、厚労省に、廃止決定した雇用促進住宅への入居を可能とした「廃止決定した雇用促進住宅の活用について」(〇八年十二月二十六日)の通達を出させました。これにより、いま、廃止決定されていた雇用促進住宅を修繕しての入居がはじまっています。

私が住む坂部団地でも、雇用促進住宅へ入居される「派遣切り」の労働者に家具や電気製品等を提供するなど、支援の輪がひろがっています。この廃止決定された雇用促進住宅への入居に道が開けたことは、これまで入居していた人々たちからも、「雇用促進住宅廃止」の閣議決定を撤回させ、入居がつづけられる可能性が出てきたと、大変喜ばれています。さらにハローワークの窓口の職員も、「仕事をみつけても、住む所が確保できない」と困っていた人がいたので本当にありが

たい」と語っています。

社会の責任果たせ」と大企業に直接申し入れ

私たちがなによりも重視したのは、「非正規切り」の被害をこれ以上出さないことです。契約期間中の違法・不当な解雇も多だけに、直接三重労働局に申し入れるとともに、各企業へ直接申し入れをおこないました。

ホンダ、シャープ等に直接申し入れ、門前宣伝

ホンダやシャープなどの大企業への「解雇撤回、雇用守れ」の申し入れでは、いちおう部長級の幹部が対応しましたが、「私たちのところでは今後の雇用状況がわかりません。すべて本社対応ですから」などとして、今後の見通しなどについてはまともに答えませんでした。この申し入れのとりくみによって、ホンダ鈴鹿製作所は期間工を三月末までに千七百六十人、シャープ亀山工場・天理工場・三重工場(多気町)で三百八十人の派遣社員を削減することが確認されました。

参加で、会場からの発言も多くなされ、地元三重テレビのニュースで大きく報道されました。

日立金属で「派遣切り」にあった青年は、シンポジウムのなかで発言し、「私の職場に共産党の人がいたおかげで、私は本当に救われた。親に相談のつていただき、雇用促進住宅にも入居することができた。私は日本共産党に入れてもらいました。黙っているのは生きていけない。いつしよにがんばりたい」と力強く話し、大きな拍手に包まれました。

シンポジウムには、みえ労連事務局長とともに、大平敏也全日本金属情報機器労働組合(JMIR)愛知支部副委員長の参加もありました。

鈴鹿市では、「ホンダ一七六〇人雇い止め緊急報告・懇談会」(党北勢地区委員会主催、二月八日)を開きました。

この報告・懇談会に向けて、党県・市議らがホンダへ申し入れた内容のビラをつくり、ホンダ鈴鹿製作所やハローワーク前で宣伝しました。この宣伝でシンポジウムのことを知り、はじめて参加した労働者も多くいました。

ここでは、八田ひろ子元参議院議員や党ホ

領 収 書

No 023193

2 / 年 11 月 24 日

はぎわら量吉 御中

株式会社 中日新聞センター

〒514-0815 三重県津市藤方2613番地の1
TEL 059-224-8885 FAX 059-223-2810

金額 7,186,559

- ☐ 本社
☐ 桑名営業所
☒ 四日市営業所
☐ 鈴鹿営業所
☐ 松阪営業所
☐ 伊勢営業所
☐ 紀州営業所
☐ 伊賀営業所

入金内訳		
現金	小切手	振込
折込料	177,675	円
配送料		円
消費税	8,884	円

折込日	11/26	枚数	77,250
サイズ	B4	単価	2.80

ホームニュース広告掲載料
年 月 日 発行



取扱者印



上記の金額正に受取りました。

複写でないもの、訂正したもの及び取扱者の押印の無いものは無効です。

(2×50×300)

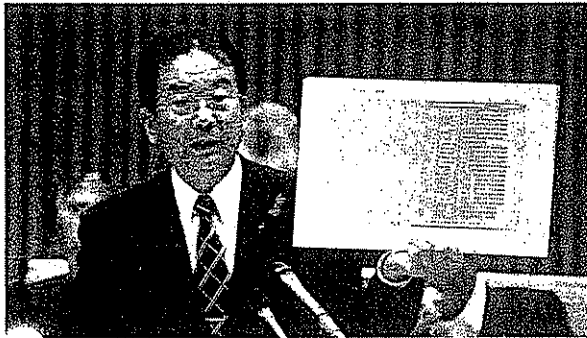
24500067

政治の流れを大もとから変え

くらしを守る先頭に立つ

日本共産党

はぎわら量吉議員



はぎわら量吉県議は、民主党政権の下で、後期高齢者医療制度の廃止、障害者自立支援法の応益負担の廃止や生活保護の母子加算の復活などを早期に実現し、高速道路の全線無料化の問題や子ども手当は子育て支援策を総合的に実施するよう要求すべきだと、

後期高齢者医療制度はすぐやめよ

今回の総選挙では、自民党・公明党政権に国民の厳しい審判が下され、日本の政治にとって前向きな大きな一歩、新しい歴史のページを開くものとなりました。

日本共産党のはぎわら量吉県議は、九月から十二月までおこなわれている県議会第二回定例会で、この結果を大いに歓迎する立場から一般質問に立ち、これまでの県政を見直し、無駄遣いをやめて、政治の流れを大もとから変えようと強く要求しました。

野呂知事の基本的な政治姿勢をたてました。

野呂知事は、「まだ政府の方針がはっきりしない」などとまともに答えず、「地方分権の確立については大いに期待する」と答えるにとどまりました。

県幹部職員の「天下り」ゆるすな

さらに、はぎわら量吉県議は、国の官僚の天下り禁止の方針と相まって、県幹部職員が県の出資法人やゼネコンなどへ「天下り」することを禁止せよとせまりました。

野呂知事は、「県への不正な働きかけをしないような仕組みづくりが大切だ」と答弁をすしかえ、県職員の天下りをやめさせる姿勢は示しませんでした。



はぎわら量吉県議の調査によると、県の出資法人に四十九人の県幹部職員が、さらに大手ゼネコン・建設会社などには七十五社八十人が天下っています。

シャープ工場の売却は契約違反 補助金返還を知事にせまる

また、はぎわら量吉県議は、県費で九十億円もの補助金を出したシャープ亀山工場が「派遣切り」一労働者をモノ扱いのよう

にクビを切りながら、第一工場を中国へ売り払おうとしていることを厳しく批判し、「九十億円もの補助金の返還を求めよ」と、強く求めました。

野呂知事は、「条例・規則にもとづいて適正に対応する」との答弁にとどまり、大企業には弱腰の姿を示しました。結局、県補助金等

交付規則にもとづいた補助金返還は求めることとなりました。



街頭での労働相談にのるはぎわら量吉県議

はぎわら量吉県議が

25周年で表彰

「私に長年ご支持、ご支援いただき、またご協力下さったすべてのみなさんへの表彰だと思っています。心からありがとうございます。」
(はぎわら量吉)

24500068

ご意見・ご要望をお寄せください

日本共産党

ホームページをご覧ください

はぎわら量吉県議会報告

2009年
秋季号

発行/日本共産党三重県議団
〒514-8570 三重県津市広明町13番地
電話: 059-224-3302 FAX: 059-224-3303
<http://hagiwara.jcp-mie.jp/>

「所得税法第56条見直し」で国へ意見書提出

10月20日の県議会本会議で、「所得税法第56条の見直しを求める意見書」が全会一致で採択されました。

法第56条は、中小業者や農業・漁業などの家族従業員「働き分」(自家労賃)を必要経費と認めていないため、営業を行なっている妻や子どもに賃金が払われないという問題があります。県商工団体連合会婦人部協議会が12,000人以上の署名と農協・漁協など50団体の署名を添えて請願を県議会に出していました。この請願の運動が今回の意見書採択につながりました。

良いことに協力

悪いことに反対

新しい
政治の
中で

日本共産党三重県議団はがんばっています

国民の声で政治が動く時代が本格的に始まりました。総選挙で「自公政権ノー」の審判が下りました。同時に「単純に民主党の勝利ととらえていない」（鳩山代表）というとおり、自公政治に代わる新しい政治がますます問われていきます。こうした政治の新しい局面を前にすすめるために、日本共産党三重県議団も全力でがんばっています。

民主党政権がすすめる「高速道路の全線無料化」。これは、地球温暖化を規制する流れに反すると同時に、一兆三千億円もの税金が使われることになりまふ。このような財源があるなら、国の制度で、子どもたちの医療費とともに、高齢者の医療費も無料にできると、日本共産党のはざわら量吉、真弓としお両県議は強く主張し、国会議員とも連携して、その実現に全力投球しています。

また、子ども一人月二万六千円の子ども手当



真弓としお 県議



はざわら量吉 県議

日本共産党
三重県議団

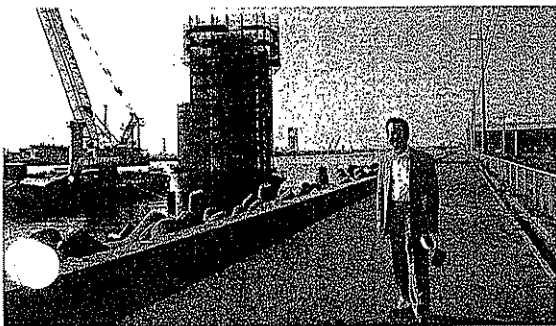
新しい政治の中で、県民の目線に立ち、みんなの要求実現の立場から、良いことには大いに賛成し、その論戦をリードし、県民にとって悪いことは反対をつらぬき、問題点を正す姿勢でがんばります。

みなさんのご意見、ご要望をお寄せください。

日本共産党 三重県議団は

についても、全体として子育て支援の充実を求めて、父母で子育てできるように、長時間労働の規制や、保育園・学童保育所の整備・充実を強く求め、多くの民主団体とともに運動を強めています。

また、二人の日本共産党県議団は、ムダ遣いをやめさせるために、三重県でも、徳山ダムの水余りの失政の上にさらにムダを重ねる、八九〇億円もの「木曾川水系導水事業」や、総事業費が一・二三億円の、治水や利水でも必要性のない川上ダムの建設について、その見直しを強く求めています。



「震4号幹線」は凍結、見直せ 大型トラック優先の産業道路

四日市港管理組合の議会議員になったはざわら量吉県議は、一般質問や質疑、決算の反対討論の中でも、巨大な港湾道路「震4号幹線道路」の中止・凍結を求めて奮闘しています。

しかも、四日市港へ出入りするコンテナ量は、当初計画のわずか五分の一で、名泗国道の交通量も大きく減っています。そのうえ、高松干潟の自然や生態系がくずれてしまふ不安も深刻です。

「こんな道路はいらない。一時凍結して見直そう」という住民運動が広がっています。



24500067

県議会6月会議と9月会議における 各会派の主な議案の賛否

6月会議での主な議案などへの賛否

	新進みえ	自民みらい	公明党	想達
平成21年度三重県一般会計補正予算(第5号)(第6号)	×	○	○	○
三重県社会福祉施設等耐震化等臨時特例基金条例案	○	○	○	○
細菌性髄膜炎ワクチンの公費による定期予防接種の早期実現を求める意見書案	○	○	○	○
国庫特許事業負担金の見直しを求める意見書案	○	○	○	○

○:賛成 ×:反対

9月会議での主な議案などへの賛否

	新進みえ	自民みらい	公明党	想達
平成21年度三重県一般会計補正予算(第9号)	×	○	○	○
公安委員会委員の選任につき同意を得るについて	×	○	○	○
平成20年度三重県水道事業決算	×	○	○	○
平成20年度三重県工業用水道事業決算	×	○	○	○
平成20年度三重県電気事業決算	×	○	○	○
所得税法第56条の見直しを求める意見書案	○	○	○	○
30人学級を柱とした義務教育諸学校及び高等学校次期定数改善計画の策定と教育予算の拡充を求める意見書案	○	○	○	○
義務教育費国庫負担制度の存続と更なる充実を求める意見書案	○	○	4人が反対	○
保護者負担の軽減と就学・修学支援に関する制度の拡充を求める意見書案	○	○	○	○

○:賛成 ×:反対

領 収 証

№ 25171

日本共産党はぎわら量吉 様

21年 11月 24日

¥ 24,845 -

但し 千円未満は代

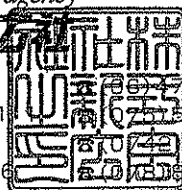
消費税額等¥1,185- を含む

上記の金額正に領収いたしました



sales promotion agency

株式会社新広社



■ 本 社	大阪市中央区今橋2-5-8	☎ 06-6500
■ 京都支社	京都市山科区西野山階町31	☎ 075-592-7544
■ 奈良支社	奈良市北之庄西町1-4-1	☎ 074-63-8288
■ 神戸支社	神戸市東灘区向洋町東4-16	☎ 078-42-7291
■ 姫路支社	姫路市阿保甲822	☎ (079) 224-1838
■ 名古屋支社	名古屋市中村区名駅4-23-13	☎ (052) 527-1082
■ 三重営業所	四日市市日永西4-6-26	☎ (059) 348-2961
■ 伊勢営業所	伊勢市御園町上條1496-2	☎ (0596) 31-1670

本領収書に金額訂正又改ざんのもの、社印、係印なきものは無効とする。

印
紙

係 員



24500070

領 収 証

L No. 01373

はがねら 豊吉 殿

平成 21 年 11 月 24 日

			1	4	4	5	5	6
						2	1	2

(内消費税)

入 金 明 細	
現金	
小切手	
振込	

但 11/6 時点 18450 枚
上記の金額正に領収致しました



株式会社 朝日オリコミ名古屋

本社 〒460-0008 名古屋市中区栄1丁目3番3号 朝日会館7F
TEL 052-221-7711 (代表)



24500071

領 収 証

N0006802

はぎわら量吉 殿

平成 21 年 11 月 24 日

¥ 14,248 -

但し 1/66 坪 13570 消費税 678

上記の金額を正に領収いたしました。
社印扱者印なきものは無効とします。

収 入
印 紙

扱者印

株式会社 読売中部インフォメーションサービス

〒453-0036 名古屋市中村区森田町1丁目6番2号 TEL(052)461-1251 FAX(052)461-0701



24500072

領 収 証

2009年 12月 15日

032595

はぎわら 様

金 額 480900 -

但 県議会報告印刷代として

上記の金額正に領収致しました

内 訳	現 金		円
	小 切 手		
	廻小切手		
	約 手		
	廻手形		
	相 殺		
	振 込	480900	



名古屋市瑞穂区瑞穂6号

(株)東海印刷

TEL(052) 2211111 (代表)



領 収 証 2010年 1月27日

032625

萩原量吉 様

金 額	¥	5	9	8	5	0	0	-
-----	---	---	---	---	---	---	---	---

「ひとすじに..ひたすに」
但 日本共産党県議在職25年を機に 代金にて。
上記の金額正に領収致しました

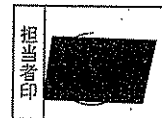
内	現 金		円
	小切手		
	廻小切手		
	約 手		
	廻手形		
訳	相 殺		
	振 込	¥598 500-	



名古屋市瑞穂区瑞穂1丁目17番6号

(株)東海印刷

TEL(052)822-7281(代表)

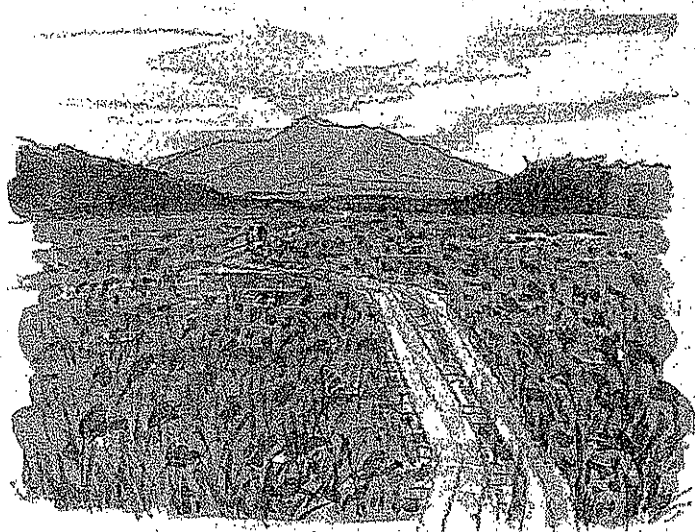


24500074

ひとすじに、 ひたすらに

日本共産党県議在職 25 年を機に

萩原量吉



24500075

●目次

ごあいさつ—おかげさまで県議在職二十五年	5	二〇〇六年六月 だれのための企業誘致か	
一九九六年十月 「さわやか」などといえぬリストラ計画	10	●三重・シャープ亀山工場の実態	74
一九九七年一月 カラ出張問題究明へ三重県議団が奮闘	16	二〇〇六年七月 なれあい議会が復活、願いとどける議席を	81
一九九八年十月 行政を企業化する三重県の北川「行革」とたたかう	25	二〇〇七年四月 リポート 三重県政に見る各党の役割	
一九九九年九月 二兆円かけても観光復興はない	35	県民いじめ、大企業に巨額支援の民主党主導の県政	88
二〇〇一年九月 三重県の産廃税導入と日本共産党の立場	46	二〇〇八年七月 産業廃棄物の偽装リサイクル—石原産業の「フェロシルト」	99
二〇〇二年八月 「開かれた県議会」への提案と努力が県政を動かす	55	二〇〇九年四月 大量の「非正規切り」から雇用・暮らしをまもる	110
二〇〇四年十一月 あきらかになったRDFごみ処理の致命的欠陥	62	二〇〇九年十一月 平成二十年度決算認定に対する反対討論	122
●爆発死事故から一年		一九九六年八月 ぞう列車	126

項目	広報費	その他
----	-----	-----

年	月	日	支出金額	内容
2009	5	25	630	サーバー費用振込手数料
	11	24	420	振込手数料
	12	15	840	振込手数料
2010	1	27	840	振込手数料
計			2730	

24500077

☐ 振込金受取書
☒ 振込受付書 (兼振込手数料受取書)

おねがい

・お振込みは、早くて便利な自動振込機をご利用ください。
 ・振込依頼書は、なるべく午後2時までにお待ちください。
 この時刻以降の受付分は翌営業日扱いとなることもございますのでご了承ください。

年 月 日

お振込先	銀行名(漢字(左づめ)でご記入ください)										〇をつけてください 銀行 信用金庫 信用組合 農協 その他				お振込方法 電信振	
	支店名(漢字(左づめ)でご記入ください)										支店		金額		十 億 千 万 百 万 十 万 千 百 十 円	
お振込金額	〇をつけてください										□ 座 番 号		左づめでご記入ください。		消費税込手数料 630	
	カタカナ カ ト ウ カ イ キ ヨ ウ ト ウ イ ン サ										カタカナ ハ キ ヲ フ ラ ヲ ヲ キ チ ケ ン キ ン		振込金 区分		現金・有価証券(当座小切手等) 他人名義等の払戻請求書 本人名義の払戻請求書 (定期預金等をのぞく)	
お振込人	(フリガナ) 姓と名の間は1マス空けて左づめでご記入ください。 カ ト ウ カ イ キ ヨ ウ ト ウ イ ン サ										(フリガナ) 姓と名の間は1マス空けて左づめでご記入ください。 ハ キ ヲ フ ラ ヲ ヲ キ チ ケ ン キ ン		「本人名義の払戻請求書」だけに○がある場合は、「振込受付書(兼振込手数料受取書)」として、「現金・有価証券、他人名義等の払戻請求書」は同方に○がある場合は、「振込金受取書(兼振込手数料受取書)」として使用します。		収入印紙	
	(おなまえ) 株式会社 東海共同印刷 様										(おなまえ) 萩原量吉 専議事務所 様		領収書 25,525 百五・票号 T-10		振込金受取書 兼振込手数料受取書	
お振込人	(おとこ) 四日市市 新正4丁目21-11 ご連絡先電話番号 (059-351-8184)															

*17.9

※3442 (2/2) (20.06) ⑤

振込手数料

24500078

☐ 振込金受取書 (兼振込手数料受取書)
☒ 振込受付書

おねがい

・お振込みは、早くて便利な自動振込機をご利用ください。
 ・振込依頼書は、なるべく午後2時までにお持ちください。
 この時刻以降の受付分は翌営業日扱いとなることもございますのでご了承ください。

(年 月 日)

お振込先	銀行名										
	支店名(漢字(左づめ)でご記入ください)										
預金種目	〇をつけてください										
	口座番号										
お受取人	姓と名の間は1マス空けて左づめでご記入ください。	カ マ シ キ カ ッ ク シ ャ ー コ ー ニ 子									
	漢点(・)、半漢点(ゝ)なども1マスを使用してご記入ください。	サ ー ビ ス セ ン タ ー -									
お依頼人	姓と名の間は1マス空けて左づめでご記入ください。	ハ キ シ ャ ー リ ョ ー									
	漢点(・)、半漢点(ゝ)なども1マスを使用してご記入ください。	カ プ シ キ ガ イ シ ャ ー カ									
人	(おなまえ)	株式会社 中日三重サービスセンター 様									
	(おところ)	四日市市 55番4号 2-1-116 様									
ご連絡先電話番号		(059-331-8192)									

消費税込手数料
147円

当行をご利用いただきましてありがとうございます。

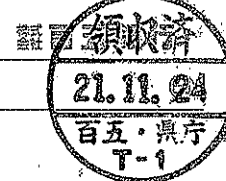
・当行本支店への振込のため受け入れた小切手等が不渡りとなったときは、その金額の振込を取り消し、その小切手は権利保全の手続きをせず当店において返却します。
 ・ご記入相違あるいはやむを得ない事情による通信回線の障害などが発生した場合には、振込が遅延することがありますのでご了承ください。

振込金	現金・有価証券(当座小切手等)
区分	本人名義の払戻請求書 (定期預金等をのぞく)

・「本人名義の払戻請求書」だけに○がある場合は、「振込受付書(兼振込手数料受取書)」として、「現金・有価証券」他人名義等の払戻請求書」または両方に○がある場合は、「振込金受取書(兼振込手数料受取書)」として使用します。

収入印紙

・振込金受取書
 「振込金+手数料=3万円未満」は印紙不要
 ・振込受付書
 印紙不要



県議会報告新聞折込料の
振込手数料

24500079

☒ 振込金受取書 (兼振込手数料受取書)
☒ 振込受付書

お願い

・お振込みは、早くて便利な自動振込機をご利用ください。
 ・振込依頼書は、なるべく午後2時までにお持ちください。
 この時刻以降の受付分は翌営業日扱いとなることもございますのでご了承ください。

(年 月 日)

お振込先	銀行名(漢字(左づめ)でご記入ください)					〇をつけてください 銀行 信用金庫 信用組合 農協 その他					お振込方法 電信振込
	支店名(漢字(左づめ)でご記入ください)										
金額	支店					金額					十 億 千 万 千 百 十 円
						4 8 0 9 0 0					
預金種目	〇をつけてください					左づめでご記入ください。					消費振込手数料 A40
	口座番号										
お受取人	(フリガナ) 姓と名の間は1マス空けて左づめでご記入ください。										様
	トウカイキョウトウインサツ										
カタカナ	濁点(・)、半濁点(゜)なども1マスを使用してご記入ください。										様
	カブシキガイシャ「カ」などの略号をご記入ください。										
(おなまえ)	東海共同印刷										様
お依頼人	(フリガナ) 姓と名の間は1マス空けて左づめでご記入ください。										様
	ハキ「ワラ」リヨウキチ										
カタカナ	濁点(・)、半濁点(゜)なども1マスを使用してご記入ください。										様
	カブシキガイシャ「カ」などの略号をご記入ください。										
(おなまえ)	萩原 量吉										様
人(おとこ)	三重県四日市市坂部ヶ丘 2丁目1-116										様
	ご連絡先電話番号 1059-331-8192										

当行をご利用いただきましてありがとうございます。

・当行本支店への振込のため受け入れた小切手等が不渡りとなったときは、その金額の振込を取り消し、その小切手は振込依頼書の添付をせず当店において返却します。
 ・ご記入相違があるいはやむを得ない事情による過信回線の際等などが発生した場合には、振込が通達することがありますのでご了承ください。

振込金区分	現金・有価証券(当座小切手等) 他人名義等の払戻請求書
	本人名義の払戻請求書 (定期預金等をのぞく)

「本人名義の払戻請求書」だけに○がある場合は、「振込受付書(兼振込手数料受取書)」として、現金・有価証券、他人名義の払戻請求書または両方に○がある場合は「消費振込金受取書(兼振込手数料受取書)」を使用します。

21.12.15

株式会社 百五銀行 東京

収入印紙
振込金受取書
振込金+手数料
= 3万円未満
は印紙不要
振込受付書
印紙不要

*17.9

高3442 (2/2) (20.12) ⑤

県議会報告印刷代の
振込手数料

24500080

報信

おねがい

・お振込みは、早くて便利を自動振込機をご利用ください。
・振込依頼書は、なるべく午後2時までにお持ちください。
この時刻以降の受付分は翌営業日扱いとなることをご注意しますのでご了承ください。

[illegible]

西五銀行
*21.10

振込手数料

2450008 i

項目	事務費	需用費
----	-----	-----

年	月	日	支出金額	内容
2009	4	17	315	筆記具
	6	30	2200	FAX用インクフィルム
	7	7	4620	ファイル、筆記具
	7	20	3780	FAX用紙
	9	6	2500	FAX用紙
	9	8	2200	FAX用インクフィルム
2010	1	15	2200	FAX用インクフィルム
計			17815	

24500082

〈領 収 書〉

シートワ白楊 文具館

〒510-0075 四日市市安島2-4-9
TEL.059-355-8577
FAX:059-353-7365

2009年 4月17日(金) 17:52

筆記具 315内

小計 ¥315
内税額 5.0% (¥15)

合計	¥315
お預り	¥1,000
お釣	¥685

担当-I 522954

筆記具

24500083

No. _____

1921年 6月30日

200

但

上記正に領収いたしました

○

あなたの街のでんきやさん

四日市市あがたが丘二丁目8-1
TEL 059-326-3123

 HISAGO 778

FSCミックス森林認証紙

24500084

〈領 収 書〉

シエツ白場文具館

〒510-0075 四日市市安島2-4-9
TEL:059-355-8577
FAX:059-353-7365

2009年 7月 7日(火) 17:40

	6 点	@630
ファイル		3,780内
	2 点	@420
筆記具		840内

小計		¥4,620
内税額	5.0%	(¥220)

合 計	¥4,620
お 預 り	¥5,000
お 釣	¥380

担当-1	544886
------	--------

ファイル 筆記具

24500085



株式会社 ヤマダ電機

本部 群馬県高崎市栄町1-1
http://www.yamada-denkiweb.com

ツクランド 四日市店 059-350-2111
営業時間 平日朝10時30分～夜9時
土日祝日朝10時15分～夜9時
出張修理・依頼は下記専用ダイヤル
TEL 0570-022-233 まで

領収書

No.0186-413-051403 [現金売]

2009/07/20 16:50

担当:015723

会員No

1195791018 FXS55A2 SSS
FAX399 1:持帰 03

¥1,090

1195791018 FXS55A2 SSS
FAX399 1:持帰 03

¥1,890

ポイント値引 ¥1,780
合計 0P

¥3,780

(内消費税 ¥180)

現金 ¥3,780

お預り ¥5,080

お釣り ¥1,300

ポイント会員No 1863002170770
前回累計ポイント数 45P
値引きポイント数 0P
今回ポイント数 114P
累計ポイント数 159P



B0186413051403B

商品の返品につきまして
は必ずこのレシートと
お会計時のポイントカード
をお持ち下さい。
お持ちでない場合返品が
出来ません。

印紙税申告納
付につき高崎
税務署承認済

★出張修理受付ダイヤル★

9:00-21:00迄

0120-223-833

【お問合せレシート番号】

0186-413-051403

FAX用紙

24500086



株式会社 ヤマダ電機

本部 群馬県高崎市栄町1-1
http://www.yamada-denkiweb.com

テックランド 四日市店 059-350-2111
営業時間 平日朝10時30分~夜9時
土日祝日朝10時15分~夜9時
出張修理ご依頼は下記専用ダイヤル
0570-022-233まで

領収書

No.0186-450-119440 [現金売]

2009/09/06 17:45

担当:629535

会員No

3190823015 UXNR8G SSS
FAX399 1:持帰 03
1,250 × 2 ¥2,500

小計 ¥2,500

ポイント値引 0P

¥2,500

(内消費税 ¥119)

現金 ¥2,500

お預り ¥2,500

お釣り ¥0

ポイント会員No 1863003163290

前回累計ポイント数 1,140P

今回ポイント数 0P

今回ポイント数 75P

累計ポイント数 1,215P



B0186450119440B

商品の返品につきましては必ずこのレシートとお会計時のポイントカードをお持ち下さい。お持ちでないと返品が出来ません。

印紙税申告納
付につき高崎
税務署承認済

★出張修理受付ダイヤル★

9:00-21:00迄

0120-223-833

【お問合せレシート番号】

0186-450-119440

FAX用紙

24500087

領収証

No. _____

萩原 量吉 様 H21 年 9 月 8 日

金額

¥2200

内

但

消費税等

上記正に領収いたしました

あなたの街のでんきやさん

豊神堂 スギモト店

四日市市あがたが丘二丁目8-1
TEL 059 - 326 - 3123

HISAGO #778

現金

小切手

納品書 H21 年 9 月 8 日

No. _____

萩原 量吉

様

あなたの街のでんきやさん

豊神堂 スギモト店

四日市市あがたが丘二丁目8-1
TEL 059 - 326 - 3123

下記のとおり納品いたしました

品名	数量	単価	金額 (税抜)	税込	摘要
1 扇風機					
2 KX-FAN 200	2	1100	2200		
3					
4					
5					
6					
7					
合計			2200		
税率	%	消費税等	税込合計金額	¥2200	

コクヨ ウ-333

24500088

領収証

荻原量吉

様

H22年1月15日

No. _____

金額

¥2200

内
消費税等

但 7372用インク代

上記正に領収いたしました

あなたの街のでんきやさん

豊神堂スギモト店

四日市市あがたが丘二丁目8-1
TEL 059 - 326 - 3123

現金	2
小切手	

HISAGO #778

納品書 H22年1月15日

No. _____

荻原量吉

様

あなたの街のでんきやさん

豊神堂スギモト店

四日市市あがたが丘二丁目8-1
TEL 059 - 326 - 3123

下記のとおり納品いたしました

品名	数量	単価	金額 (税抜)	税込	摘要
1 7372用インク					
2 KX-FAN200	2	1100	2200		
3					
4					
5					
6					
7					
合計			2200		
税率	%	消費税額等	税込合計金額	¥2200	

コクヨ ウ-333

24500089